

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPPO



March 2018
No.781



広報誌の表紙撮影風景(刈羽村)

子供たちが地元のパンを楽しく食べる様子を撮影しました。

4~5 特集 全国公民館セミナー参加者レポート

CONTENTS

- 2………… トピックス 「第2回評議員会・第3回理事会」開催
- 3………… 視 点 「どうなる公民館を取り巻く状況は？」 五泉市公民館長 松川 稔明
ひろば 「みんな集まれ〜」 津南町・元気っ子クラブ 代表 島田奈津美
掲 示 板 「平成30年度の主な会議、大会予定」
- 6………… 実践記録シリーズ 「ジュニアリーダーMAXとは」 阿賀町公民館
- 7………… サークル交流 「俳句を楽しく、俳句で元気に」(聖籠町) / 「柔軟体心を求めて」(胎内市)
素 顔 拝 見 阿部小百合さん(十日町市) / 清水 芳之さん(見附市)
- 8………… お元気ですか 「地域社会は大事な我が友！」 南魚沼市・山崎 政敏さん
ネットワ-ク

TOPICS

「第2回評議員会・第3回理事会」開催

今年度の最後になる評議員会

と理事会が2月14日(水)に新潟市中央公民館で開催されました。前週からの大雪で開催が危ぶまれましたが、交通上の理由で当日欠席したのは4市町村にとどまり会議は予定どおり開催されました。

本会議の重要議案は、

- 1 今年度の事業報告と決算見込み
- 2 来年度の活動計画と予算編成

でした。また、特に、「負担金の見直し」についての意見交換が



評議員会に先立って理事会が午前中に行われました。

熱心に行われました。

1 今年度の事業報告と決算見込み

今年度事業については、役員会、専門委員会、上部組織連絡会議・研修会、大会・研修会・講習会への参加、資料・刊行物の発行・幹旋、関係機関・団体との連携の各事業は予定どおりに行われました。また、決算見込みについては、まだ、年度途中でこれらの収入、支出が見込まれる中、42万円余りの赤字見通しであることが報告されました。

2 来年度の活動計画と予算編成

来年度の活動計画では、基本方針に県連合会として果たす役割を追加記載する意見があり、来年度第1回評議員会で修正することになりました。活動計画は例年どおりに行うことが了承されました。予算編成は集計に誤りがありました修正了承されました。

3 負担金の見直し

平成31年度からの各市町村負担金の見直し案が提示されました。これまでの、均等割り・平均割方式が市町村によりバラつきがあったことからこれを廃止し、新たに人口比率で算出する方式が提案されました。この方式では、段階的に負担金合計が下がり、予算編成と事業計画を見直す必要性が指摘されました。新方式は基本的了解されましたが、正式には来年度第1回評議員会(5月18日(金)新潟市)で協議され決定する見通しです。

4 その他

平成31年度の市町村負担金減では、事業見直しの必要性があることから
 (1)公民館月報の発行や編集の改善が必要
 (2)県大会の見直しを検討すべき
 などの意見が出ました。来年度は例年どおりの事業を実施す

ることになりましたので、これらの意見をふまえて平成31年度の第2回評議員会(平成31年2月13日(水))に活動計画と共に事業計画が提示されます。



今年度最後の評議員会 集合写真を撮りました。

なお、午前中の理事会で、今年度末をもって事務局長(田原理氏)が退任し、新たに広瀬 松司氏(現事務局長)が事務局長になることが決定し、評議員会で報告されました。
 *田原氏は庶務係として事務局に残留します。

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行
 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711



「みんな集まれ〜」

津南町・元気っ子クラブ
代表 島田奈津美



毎月1回、津南町公民館を活動場所として活動をしているママサークルの「元気っ子クラブ」です。0歳〜3歳までの子を持つお母さんたちの集まりで、現在は16組で活動を行っています。年間を通して、その季節に応じた活動を企画しており、夏場は外に出かけて公園で野外遊び、プール遊びを行う他、秋にはリング狩り、季節の行事のクリスマス会や節分など小さな子どもでも楽しめることができます。

イベントを実施しています。同じ年齢の子を持つお母さん達の情報共有の場として、町民なら誰でも参加できるサークルとなっており、和気藹々とした雰囲気の中で、ご飯を食べたり、会話をしながら、会員みんなで子育て中の苦労や悩みの他、喜びや楽しさも理解し合っています。

月1回の集まりのため、子育ての中の疑問や毎日の子どもの様子など、集まる度に違う話ができることが楽しみです。子育て真っ最中のお母さん方の中でも入会したばかりの親子には、少し先輩のお母さんからアドバイスをしてあげたり、新前のお母さんからの素朴な質問も先輩のお母さん方も改めて勉強になることばかりです。

家庭だけの育児でなく、こうして同じ境遇の「ママ」たちが集まる場はとても貴重です。で、今後も楽しく子育てできる仲間を増やしていきたいと思っています。

視点



五泉市公民館長
松川 稔明

「どうなる公民館を取り巻く状況は？」

「2025年問題」報道されないリアルな将来として、とある記事が目に入った。これから10年間で日本の人口は700万人減り、2025年には、団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という「超高齢化社会」を迎える。この超高齢化社会の加速は社会保障制度の疲弊を意味し、なお少子化問題はさらに深刻となる。日本の少子化対策に関しては抜本的な対策はとられていない現実がある。少子化は、そのまま生産人口減少につながり、国の税収減、経済発展にも悪影響となり、人手不足とお金がないつまり財政危

機となる。生産年齢人口が減り、労働人口が高齢化し労働の質、働き方が変わる。事務職や工業系技術者、農家や漁師、土木作業や建設技術者は大幅減、一方で、介護関係職員は倍以上に増加し、葬儀関係者は1.5倍に増えている。認知症を患う人の数も700万人を超えるとの推計値もあり、65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が罹患する計算となり、国民の10人に1人が、程度はともかく認知症になっていると予想される。これらの問題は、未来社会の構造に大きな変化をもたらし、医療、特に介護の世界に必要性が増加し、保険料増、窓口自己負担増、および増税などをしていかなければ国民皆保険制度は維持できないと、現場の医師の半数が思っている。また、年金制度もしかりで70歳への支給年齢引き上げもムードからリアルになっ

ていく時が来るのだろう。人口減少に伴う空き家率も2025年には20%を超える予想もあり、何よりも7年後のこれらの問題に対して、政府の対策が見えないこと、報道もされていないこと、そして自身も含め、私たちがほとんど意識していないことなのだ。

いずれにしろ東京オリンピック後の社会情勢は大きく変わっていくことが予想される。私たちの生涯学習、公民館はもっと急激な変化を強いられるかもしれないと思いつつ、受け皿として、労働環境の多様化など、これから求められる事や人材は何かと考えると、「時代に求められる組織(人材)に内容(自分)を変化させることができる」何事もポジティブな発想に変えられる人だと、世間は異動の時期であるが、強く意識していかなければならないリアルがある。

掲示板 HOT NEWS

平成30年度の主な会議、大会予定

「役員会」

- 1 評議員会 第1回 平成30年5月18日(金)新潟市・午後
第2回 平成31年2月13日(木)新潟市・午後
- 2 理事会 第1回 平成30年5月18日(金)新潟市・午前
第2回 平成30年6月8日(金)新潟市・午後
第3回 平成31年2月13日(木)新潟市・午後
- 3 監事会 平成30年5月9日(木)新潟市・午後
- 4 月報編集委員会 7月、2月 新潟市・午後

- 5 県大会 平成30年7月19日(木)新潟市江南区文化会館
- 6 全国大会 平成30年11月1日(木)、2日(金)東京・日本青年館
- 7 全国公民館セミナー
平成31年1月 国立オリンピック記念青少年総合センター

*開催日、会場は予定です。公民館月報4月号に詳細を再掲載します。

特集

全国公民館セミナー参加者レポート

「全国公民館セミナー」が1月31日(水)～2月2日(金)に国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に行われました。講師が一流で研修の内容が充実していることから毎年全国各地から多くの参加者が集まります。新潟県からは6名の参加がありました。終了後に参加レポートをいただきましたので紹介します。

【参加者】

- 1 小千谷市公民館 渡邊 善則
 - 2 上越市立公民館 渡辺 真司
 - 3 新発田市中央公民館 小柴明衣子
 - 4 新潟市石山地区公民館 杉山 茂一
 - 5 新潟市巻地区公民館 前澤 優子
 - 6 県公連事務局員 広瀬 松司
- (順不同 敬称略)

全国公民館セミナーに参加して

小千谷市公民館 渡邊 善則

①「公民館はこれからどうなるのだろうか?」②「文科省の生涯学習政策局や社会教育課がなくなるといって……」③最先端の社会教育、公民館の情報を手に入れ、それを語る専門家、官僚、そして参加者との交流ができれば、との思いでこの度参加しました。

牧野篤氏、山崎亮氏、吉田博彦氏の三氏による座談会と関係省庁四氏(出向を含む)の話から①②③について私の解釈、私見を述べます。

①自治能力の低下する現代ですが、シェアリングやアソシエーションなどができ始めている。今後の公民館の役割は、信頼・楽しさをキーワードに個と個がまとまり一つの集合体として活動できるように働きかけていくことではないでしょうか。

②生涯学習政策局社会教育課長より、社会教育課をなくし、社会教育の核となり公民館の担当課である「地域学習推

進課」を新設するという説明がありました。公民館はもともと教育のみならず、厚生や産業とのかわりが強かったことを考えれば、今後、一般行政とより連携を深めていくことです。しかし、社会教育課という文言がなくなり、無理難題な地方公共団体の首長から社会教育が、軽視されるのではないかと懸念されます。

③司会の吉田氏の辛口の発言、実践に裏付けられた牧野氏の理論やコミュニティデザイナーの山崎氏の歯に衣を着せない発言を、私は勿論の事、参加者全員が自分の公民館に思いを馳せ堪能しました。

また、「二日目のワークショップ(13班)で公民館の映画作りを通して同じ班の六人と親しくなり、制作した映画が見事グランプリを獲得しました。

2日間しか参加できませんでしたが、最高に充実し、得るものが多かったセミナーでした。

「公民館の役割」

上越市教育委員会 社会教育課 渡辺 真司

今回の研修では、公民館の存在意義や新しい役割などについて討議した「公民館がひらく 地域の未来の講義」がとても印象的でした。公民館が地域でどのような役割を果たしていかなければいけないのか。様々な立場の方々から意見を聞くことができる貴重な時間であり、また、公民館で何ができるか考えるきっかけになりました。

近年、少子高齢化や人口減少などの地域課題や社会課題は増大する一方、行政が限られた財源のなかで対応することには限界があります。そこで、住民が自主的に課題を解決することが求められてきますが、そのために必要な支援を公民館が担っており、その使命の大きさを実感しました。

公民館事業の内容を考えると、「楽しそうなこと」「人が集まりそうなこと」が中心になりがちです。しかし、今回

の研修で身に付けた知識を活かし、人材育成に必要な学習や実践の場の提供を行えるようにしていきたいです。

今後、価値観の多様化、複雑化などに伴い、ますます公民館の存在意義や価値について問われてくると思われませんが、市民や地域から何が求められているのか見極め、活

気ある地域社会の実現のため、公民館の役割を果たしていきたいと思えます。



スペシャル座談会 鋭い指摘

「公民館ってなんだろう」

新発田市中央公民館 小柴 明衣子

先日、東京で開催された「全国公民館セミナー」に参加してきました。

当日、研修会場に向かう新幹線の中では、約90人規模の大きな研修に初めて参加する少しの不安と、どんな話を聞きどんなことを学べるのかという期待感でどきどきでしたが、今振り返ってみるとあっといふ間の3日間でした。

今回の研修は、座談形式の講義からなんと映画製作まで！どれもバラエティに富んだ楽しいものでした。その中で、「公民館の役割とは」「社会教育の意義とは」というお話がありました。私自身、今まで「公民館とは何か」と突き詰めて考えたことがあつかい聞かれれば、正直な話、日々の業務をこなすのが精いっぱいではとんどありませんでした。そ

んな中、3日間を通してこれでもか！といつくらい「公民館」について考え、意見を出し合い、時には何の答えも出せずにそれでも話し合った時間は、改めて思うと本当に楽しい時間でした。

「公民館とは何か。結局のところ、それは明確な定義があるものではなく、また定義づける必要もないのだと思います。だからこそいろいろな人がいろいろな場所でする可能性が生まれている。そんな可能性無限大な公民館に勤める職員として、これからも地域と向き合い、同じ目線で歩んでいきたいと思えます。」



特別講義 牧野 篤氏

タブレットの回し方

新潟市石山地区公民館 杉山 茂一

4時間以内にタブレットを使い90秒の映画(ショートフィルム)をつくる。
2回目のワークショップで講師の栗山宗大さん(脚本家)から各グループに出された課題だ。
テーマは「百分たちの公民館のものがたりをつくる」で3カット以内が条件。企画も監督も俳優もナレーションもカメラマンもロケも静寂の維持も全部自分たちでやる。「どうする?」。グループのみんなでしばらくお互いの顔を見合わせた。

映画の完成がゴールではなく、お互いからにじみ出たり引き出されるもの、その相互作用と偶然による効果や産物、制作のプロセス全てを受け入れて楽しむ尊重することだった。

一般的に映画では葛藤が描かれ、問題提起があると栗山さんは言う。他の講師からは近年家族の関係性がより希薄になり、小さなコミュニティも組織と化していると聞いた。少子高齢化人口減少社会悲観論もある中で、講師陣からは一貫して現況をいかにとらえ、これからの公民館に何がで

き何が必要なのかを問われ続けられた気がする。
地域や社会その課題、事業の目的と効果を見つめて柔軟な思考力を身に付ける一方、必要な人に届く機会や手法を試行錯誤でも確保し取り入れ、公民館2年目の自分なりにもがいてみようと思った。
共創って、公民館ってオモシロイ! 感謝。

「全国公民館セミナーに参加して」

新潟市巻地区公民館 前澤 優子

今季、いつまでも続く新潟の大雪にうんざり気味の私は東京の快晴を期待し上京。そして東京の曇天と雪。見事に期待は外れてしまいました。
公民館2年目の私には、事前に示された「公民館がひらく 地域の未来」の壮大な研修テーマの文字を目にするや果たして理解しきれぬのかと少々気が重いなかの参加でした。

初日のスペシャル座談会では今の公民館に求められるものや公民館の立ち位置など大きなテーマではありましたが牧野先生ほか講師の方々がざつとばらんに論議を交わされ、聞き入るなかで自然と緊張がほぐれていきました。
そのなかで印象に残ったことは、地域の人が互いにつながり主体性を持ち、豊かなコミュニティを形成する地域づくりへの一助が公民館の役割であれば、今の公民館の課題は、公民館に何人ヒトが集まるかではなく、その地域の人が自分たちで自分たちのまちを守る、作るうとするヒトがわらずかでもいいから何人できるかにある」といったことや、「多様な価値観が浸透し帰属意識が薄れた現代社会では、昔の地縁関係を復活させるのではなく、個人と個人が何かの興味や趣向でゆるやかにつながっていく小さな拠点づ



全国の精鋭 熱気の研修

くりのきつかけの場となるのが今の公民館に求められる。」といった講師の方々の言葉でした。
日々、各種主催事業のほか施設管理など目先の業務に追われ、表面的、近視眼的に公民館をとらえていたと反省しつつ、逆に講師の方々のこの言葉で、単に「地域づくり」の言葉の重みに気構えることなく、地に足をつけ少しずつゆるやかに地域にかかわって行けるような自信がわき、背中を押されたような前向きにさせていただいたセミナーでした。
最後に、県公連をはじめ、セミナー参加の機会を与えていただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

全国公民館セミナーに参加して

新潟県公民館連合会 広瀬 松司

公民館連合会に勤務して、一年目というところで、全国公民館セミナーに参加させていただきました。全国的に活躍されている高名な講師の方々、特色ある公民館活動の紹介を聴き、いろいろな面で刺激を受けてきました。

研修の中で、公民館が設置されて70年の歴史を知ることができた事で現在の課題を知ることができました。そして、今後の公民館の在り方についてヒントを与えてもらえた研修会でした。次のことが特に耳に残りました。

- ・ 社会教育主事にかわり、「社会教育士」という称号を与えて、地域社会を住民と共に経営する専門家を育成していくということ
- ・ 現在小五の子どもの平均寿命が107歳になるという統計がでていること
- ・ これからの公民館は、厚生労働省の地域包括ケアによる地域づくりや総務省の地域運営組織の活動拠点として期待されること

最後になりますが、今回の研修会で、グループで「自分たちの公民館ものがたりをつくる」という映画作成のワークショップが計画されていました。新潟県から6名の参加者がありました。審査員と参加者による審査の結果、小千谷市の渡邊さんのグループがグランプリ、新発田市の小柴さんのグループが準グランプリと新潟県人が大活躍していましたことを付け加えます。

240

ジュニアリーダー MAXとは

阿賀町公民館

実践記録シリーズ

ジュニアリーダーMAXは阿賀町内7つの小学校から参加者を募り、年間通して自然体験活動を中心に、歴史と文化、自然と食をテーマに心身の健全育成、仲間づくりの促進と青少年リーダーの養成を目的にした活動です。

「企画にあたって」

自然溢れる阿賀町内での活動を基本に3つのテーマを中心とした事業を企画しました。

◆ 地域の資源を知ってもらう

◆ 魅力ある自然を堪能

◆ 世代間交流を通して人と人とのつながりを実現

講師には町内の様々なジャンルの名人を招き、その技術・知識と「人となり」に触れ、「本物」を学ぶってもらうことにしました。また自然の中での活動から自然と共生していくための知恵と知識を育み、環境保護についても学んでもらいました。



阿賀野川マリンスポーツ体験

平成29年度 参加登録者65名(男子31・女子34)

| 回 | 実施日時 | 内容 |
|----|---------------|-----------------|
| 1 | 5/13(土) | 開講式・ハーブ石けんづくり体験 |
| 2 | 6/17(土) | 登山体験 |
| 3 | 7/1(土)・2(日) | アウトドア&宿泊体験 |
| 4 | 8/5(土) | マリンスポーツ体験 |
| 5 | 10/14(土) | 自然観察会 |
| 6 | 11/11(土) | 畜産学習 |
| 7 | 12/16(土) | スケート体験 |
| 8 | 1/20(土) | 調理・餅つき体験 |
| 9 | 2/24(土)・25(日) | スキー・スノーボード体験 |
| 10 | 3/10(土) | ケーキづくり教室・閉講式 |

「講座プログラム」

「講座の様子」

第2回目開催の「登山体験」では、町内の山の会からボランティア講師に協力いただき、初めての本格的な登山に挑戦しました。参加児童は、講師から歩き方の指導や高山植物の説明を受けながら全員で登頂することができました。山頂では、見事な眺望と達成感に浸っ

ていました。



登山体験

ていました。

第5回目開催の「自然観察会」では、町内の自然同好会のガイドによりブナの森での動植物観察や湿原内の昆虫採集などで阿賀町の自然にふれました。活動中に出題されるミッションをクリアしながら参加者は森林ウォーキングを楽しみ、動植物の観察を行いました。



自然観察会

「講座を振り返って」

町内のボランティア講師との連携により活動の中で世代間交流がなされ、児童は自主的に何かを感じ、学んでいます。地域の講師からの知識や経験を引き継ぎ、参加児童は、これからの自分の理想像を見出すきっかけとなり、双方にとって存在価値を確認できる機会となっております。

「今後について」

今後も参加児童のニーズを踏まえ、より明確な目標を設定し、事業を継続して行きたいと思えます。地域の人材育成とその人材を活かせる場を公民館活動として提供し続けられる公民館を目指していきたいと思えます。

(阿賀町公民館 皆川幸一郎)



俳句を楽しむ、俳句で元気に

聖籠俳壇

私達の聖籠俳壇は昭和37年の発足以来56年の長きに亘り受け継がれてきました。諸先輩方の活躍と指導のお陰で句会の開催は326回を数えました。句会は2ヶ月毎に町民会館にて開催しています。予め一人5句を投稿して1冊の句集を作成し、その中から一人10句ずつ選句して合計点を競います。選評は互選ゆえの楽しい発表の場となり、互いに意見を戦わせて作句の腕を研いでいます。

年に2回は新発田市在住の江川遊水先生のご指導を仰いでいます。何よりも句会終了後の食事会では世間話に花が咲き毎回楽しいひと時を過ごしています。また吟行会や忘年句会の開催並びに秋の文化祭では会員の短冊



を展示しています。

昨年、県が管理する「聖籠緑地」に会員の秀句を掲示させていただきました。緑地来訪者の皆様からは大変好評のようです。今後も夏井いつき先生のプレバトに負けぬよう精進し、和氣諷諷俳句作りを生き甲斐に町民の皆様方との交流を深めて参りたいと思います。

聖籠町聖籠俳壇

天尾壯郎 記

柔軟体心を求めて

ピラティスサークル

「ピラティスとは人名で、「介護から自立まで」がモットー。健康を維持するには、体幹の強化と柔軟性がとても大切だと思えます。

やり過ぎ、ハードワークは害を呼びます。



胎内市・ピラティスサークル 大村トシ子 記

「ピラティスストレッチ」現代はテレビ、本と情報が溢れています。

それに基づく発想の転換…どの箇所を使っているか?どこを強化しているのか?自分を知り、家庭でも真似してみる。

自分の小さい、小さい動きでも体幹作り、筋肉作りになっている事を意識してほしく、教室ではマット、ストレッチポール、ゴムを使っています。

スロースローの動かしで硬くなりそうな所を意識的にのび、気持良さを、柔らかさの柔軟体心の一助を追求していきます。

十日町市教育委員会中里公民館 主査 阿部小百合さん



4月から十日町市中里公民館に配属された阿部小百合さんを紹介いたします。

平成28年度までは、子育て支援課など福祉行政に長く携わってきた方で、公民館利用者に優しく声をかけています。明るい性格は、職場を和気藹々の雰囲気にしてきています。

職場は、館長と正規職員2名、そして臨時職員4名の7名体制で頑張っています。

趣味は、魚釣りで釣った魚を料理し、好きなお酒を楽しんでいるそうです。職場に昭和28年生まれの男性が2人いて、寒い駄洒落を飛ばすと、さらりと笑顔でかわしています。

仕事面では、交流事業等の事務を見直し、効率のよい運営に心がけていただいています。

今年度「中里地域魅力再発見塾」で中里地域の縄文遺跡群の素晴しさを感じたようです。今後、中里地域の素晴しさを子どもたちや一般の人たちに伝えられる職員になることを期待しています。

(中里公民館副館長 江口 登 記)

見附市今町公民館

主任 清水 芳之さん



公民館職員1年目の清水芳之さんを紹介いたします。

ある時は公民館職員、ある時はコミュニティ職員、またある時はパソコンマスター!! 影となり光となりて地域の方々のために活躍してくれています。

音響照明等舞台関係でも造詣が深く、今回見附市で開催された県公民館大会では、舞台進行全般の他に100名以上の子ども達が演舞したアトラクション「草薙龍」の準備、リハーサルそして当日までのプロデュースをシレッとこなしてしまう敏腕プロデューサーでもありました。

何事に関してもひょうひょうとこなしてしまう清水さんで、これからどんなことをしてくれるのか楽しみで仕方ありません。

困ったことを相談すると「う〜ん そうですね〜」と親身になって相談を聞いてくれ一緒に解決策を考えてくれる清水さん、これからも頼りにしていますね〜!!

(見附市葛巻公民館 川上 一幸 記)

素顔拝見

ネットワーク

お元気ですか
「地域社会は大事な我が友！」

山崎 政敏
(南魚沼市)



現役引退と同時に家内の実家がある南魚沼市へ移住して今年で10年目を迎えます。現役当時、この先元気に80歳を迎えるためにはと各5年完結の4つのテーマを第一目標として引退後のライフワークを考えてました。そんな頃、諸先輩から引退後は地域社会活動に参加すべきとの助言をいただき、自分には何をどのような形で地域社会へ恩返しできるのかと自問する中、テ-

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

マの一つだった、現役時代に唄ったカラオケ以外縁遠い音楽でした。当時、上海の巷から奏でていた大変美しく心に響く癒しの音色、中国民族楽器「二胡」に感動し、先ずは弾けるようにと早速、教室へ通いました。更に上達を目指してネットの音楽情報を活用したり、公園で練習したりしていた頃、ある出会いから社会福祉施設や保育園・小学校、地域催事での演奏の機会

が増え、会場でお会いした方々と「二胡を楽しむ会・胡南」までも結成、公民館をお借りして定期練習をするようになりました。今では多くのお声を頂戴し、皆様が笑顔になるようにと二胡仲間も楽しく演奏しています。音楽とは字の如し、音は楽しく気分も変えてくれます。最近では中国曲の他、唱歌から懐メロ・流行歌にも挑んでいます。現在、演奏活動が続けられるのも地域社会の皆様と公民館の方々のご理解とご支援があつてのことと、大変感謝しています。

本紙第2回編集委員会開催

第2回公民館月報編集委員会が2月8日(木)に新潟市中央公民館で開催されました。当日は大雪の中、6人(委員8名)の委員が出席しました。

協議は

1 今後の紙面構成

- ①表紙 ②トピックス ③視点 ④実践シリーズ ⑤特集 ⑥ひろば、お元気ですか、サークル交流、素顔拝見 ⑦その他 掲示板、ネットワーク、事務局長のつぶやき、広告、欄外メモ

2 市町村の執筆割当

執筆の連続や回数に不公平が起きないように一覧表の再点検を慎重に行いました。執筆割当は昨年月報8月号に「トピックス」として掲載されていますが、年度が替わるので再掲します。

公民館月報原稿執筆割当一覧

| 月号 | 表紙 | ひろば | サークル交流 | 素顔拝見 | お元気 | 実践 | | |
|--------|------|------|--------|------|------|------|------|------|
| 10月 | 五泉市 | 佐渡市 | 上越市 | 湯沢町 | 長岡市 | 加茂市 | 柏崎市 | 新潟市 |
| 11月 | 小千谷市 | 上越市 | 関川村 | 魚沼市 | 南魚沼市 | 村上市 | 三条市 | 新発田市 |
| 12月 | 新潟市 | 見附市 | 聖籠町 | 長岡市 | 阿賀町 | 刈羽村 | 糸魚川市 | 村上市 |
| H30 1月 | 南魚沼市 | 柏崎市 | 出雲崎町 | 佐渡市 | 新発田市 | 田上町 | 五泉市 | 上越市 |
| 2月 | 妙高市 | 阿賀野市 | 新潟市 | 弥彦村 | 魚沼市 | 長岡市 | 佐渡市 | 柏崎市 |
| 3月 | 刈羽村 | 津南町 | 聖籠町 | 胎内市 | 十日町市 | 見附市 | 南魚沼市 | 燕市 |
| 4月 | 田上町 | 新潟市 | 村上市 | 糸魚川市 | 胎内市 | 佐渡市 | 見附市 | 三条市 |
| 5月 | 出雲崎町 | 阿賀町 | 加茂市 | 上越市 | 燕市 | 新潟市 | 長岡市 | 五泉市 |
| 6月 | 三条市 | 聖籠町 | 柏崎市 | 十日町市 | 湯沢町 | 津南町 | 田上町 | 長岡市 |
| 7月 | 上越市 | 魚沼市 | 妙高市 | 小千谷市 | 新潟市 | 阿賀野市 | 粟島浦村 | 糸魚川市 |
| 8月 | 新発田市 | 長岡市 | 五泉市 | 燕市 | 関川村 | 柏崎市 | 加茂市 | 弥彦村 |
| 9月 | 十日町市 | 胎内市 | 阿賀野市 | 新潟市 | 糸魚川市 | 小千谷市 | 村上市 | 南魚沼市 |

大切な子どもたちのために

日本の将来を担う大切な子どもたちや、地域住民の安全を確保するため、公立学校施設の耐震化・防災機能強化を推進しています。

新潟県公立学校施設整備促進期成会

会長 (出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

マスクの怪しい日本人3人。1月に熱戦が展開されたテニスの全豪オープン。大阪なおみ選手の活躍が注目されました。その大阪選手の3回戦はテレビでライブ中継。スタンドではお馴染みの日の丸を振って応援する日本人女性が3人映りました。何とみなさんマスク着用。オーストラリアの

今は真夏のとき。風邪予防ではないでしょう。テレビの画面を注視しました。マスクを着用している人は皆無で、3人のマスク姿は異様でした。テレビ中継では応援者を良く映します。それを承知でマスク着用とは余程顔を見せたくなかった?日本では当たり前でも外国では異様?怪しい?と思われるのでは?いや。余計なお世話ですが。(田原)